

滋賀県立

精神医療センターたより

第43号 令和5年11月発行

- 令和5年度依存症対応研修を開催しました！
- デイケアについて
- 『就労準備研究発表』『納涼会』について
- 電子カルテ更新に向けて、ワーキング中
- アクセス・受診案内

令和5年度 依存症対応研修を開催しました！

令和5年度 依存症治療拠点機関における研修事業として、アルコール健康障害／薬物依存症／ギャンブル等依存症に関する依存症対応研修を令和5年9月2日(土)に開催しました。

前年度に引き続き、滋賀県立総合病院と共催し、「依存症を抱える本人やその家族への関わり方～CRAFTを参考に学び合い、考える～」をテーマに、県内の精神保健医療福祉機関を対象にワークショップを行いました。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されて初の集合形式での開催でしたが、65機関72名の方にご参加いただきました。



社会医療法人あいざと会 藍里病院の吉田 精次 副院長、医療法人和光会 一本松すずかけ病院の古田 和弘 氏（看護師）、医療法人芳州会 村井病院の齊藤 栄喜 氏（公認心理師／臨床心理士）、林道倫精神科神経科病院の武田 真実 氏（精神保健福祉士）、当センターの佐藤 周（精神保健福祉士）が、経験談を交えながら支援者が依存問題や依存症のことを正しく理解し、誰もが支援に携わることが本人や家族の回復の過程で大切であることをお話していただきました。

また、今回は簡単なロールプレイや模擬トレーニングを参加者に体験してもらうことで、対応への具体的なイメージを持っていただけるよう試みました。

その結果研修終了後のアンケートでは、「体験することで臨床での活用をイメージできた」「これまでとは違う支援に対する価値の転換や思考の修正に繋がった」というご意見をいただくことができました。





デイケアについて

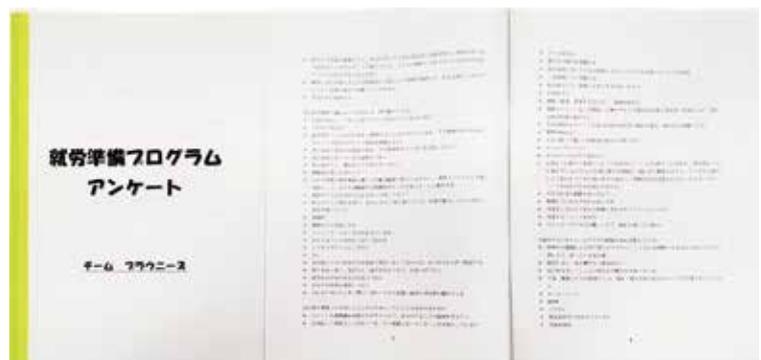
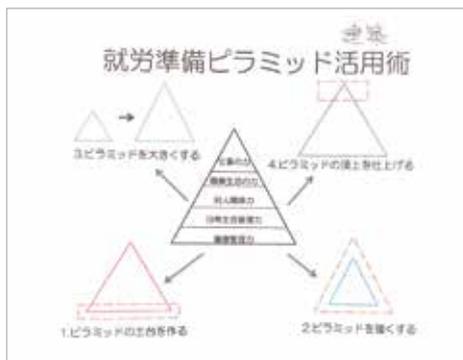
月曜日から金曜日の午前9時半から午後3時半まで下記のプログラムを実施し、精神科医療機関に通院中で、社会復帰・社会参加を目指す方へのリハビリテーション、社会移行支援を行っています。午前、午後の半日利用の場合は、ショートケアになります。

曜日	月	火	水	木	金
午前	作ってみつけよう (手工芸)	君なら書ける (書道) 表現する色遊び (絵画)		就労準備 プログラム	どんどん やってみよう (社会生活力)
午後	ミュージック セラピー (音楽療法)	ポップアップ アップ (リズム体操)	てきおん (発達障害専門 プログラム)	JOYSPO (スポーツ)	どんどん やってみよう (企画運営)
チャレンジランキング					

水曜日は、発達障害の診断がある方を支援する専門プログラムを実施し、生きがいや社会生活スキルの獲得、共感性の向上を目的とした活動を行っています。10代から20代の方7名（R5年8/15現在）が、「障害理解」「不安や怒りの感情コントロール」「上手に頼む・断る」など20回の講座を通して、自分の考え方や感じ方の特徴を考えています。また、参加者の考え方や感じ方を聞くことで多様な認識や対応に触れ、「そのような考え方もできるなあ」「自分はどうかろう」と振り返る機会にもなっています。

他の曜日は、多様な精神疾患を抱えた20代から40代の方が利用しています（R5年8/15現在の登録者31名）。音楽療法、書道、絵画、リズム体操プログラムは、外部講師の指導を受け、その手法について学び、自分の活動を修正することを通して、より良い表現になるように取り組んでいます。手工芸、就労準備プログラム（公共職業安定所の職員さんも参加し、メンバーのサポートをいただいています）、社会生活力プログラムは、デイケアスタッフがそれぞれの専門性を通して、参加者のリハビリテーションを支援しています。手工芸の技術を向上させることに加えて、自身の活動を安定させるために集中と休息のバランスを考えたり、参加者が就労のために必要だと考えるテーマについてグループでディスカッションし、数か月に渡り取り組んで成果を研究発表したり、参加者自身が企画してグループワークを運営する活動を行いながら、社会移行に向けて取り組んでいます。

チャレンジランキングは脳トレのような活動ですが、認知機能の向上間違いなしです。チャレンジ後に参加者同士で行う振り返りは、知らず知らずのうちに物事の多様な見方や考え方を磨き、コミュニケーションを深めることに繋がっています。



『就労準備研究発表』『納涼会』について

木曜日午前の就労準備プログラムでは、昨年度3月末から8月までの間、「自分たちが就労するために必要なことは何か」について、興味を持ったテーマに分かれて検討を重ね、研究発表を行いました。研究発表には、このプログラムを利用していないけれど、就労について考えたいメンバーを含め14名の参加があり活況でした。研究内容は、就職活動を進める上で活用できる社会資源は何かについて調べる、社会参加を果たした先輩方から話を聞き、アンケートにまとめる、本人と家族や医療スタッフ等支援者が協力して病状の安定を目指すクライシスプランについて学ぶ、既存の就労準備ピラミッドの活用を新たに“建築術”として再構成する多様なものになりました。

納涼会はデイケアの年中行事で、金曜日どんどんやってみようプログラムの利用者が企画を行い、夏の思い出を振り返ることから始め、アイデアを出し合い、運営を行ったものです。ビンゴゲームの上位者からすいか割りの権利を持つなど10時～15時半までのレクリエーションを考える班と、屋台風で鉄板で焼きそばを焼く等食事について考える班でスケジュールを組み立てました。当日は、このプログラムを利用していないけれど、納涼会を楽しみたいメンバーを含めた13名の参加があり盛況でした。はっぴを着る、司会をする、こてを使って焼く、すいか割りをするなど、初めて体験するメンバーもいました。

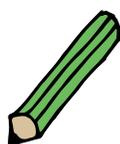
デイケアでは、剛柔織り交ぜたプログラムを提供し、メンバーの社会移行を支えています。



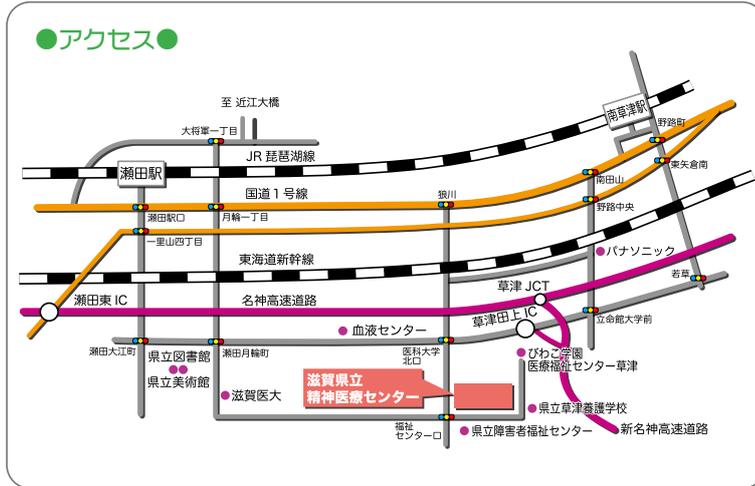
電子カルテ更新に向けて、ワーキング中

来年の2月から電子カルテが新しく変わります。

現在ワーキンググループごとに話し合いが行われ、細かい仕様を検討しています。今までより使いやすい電子カルテになるよう、活発な意見交換の場となっています。受診される患者さんにとって、スムーズな診療が行えるよう、またスタッフにとっても働きやすい環境を整えるためのツールとして、調整中です。



交通のご案内



JR瀬田駅から

- 1.バス（滋賀医大方面行き）
「大学病院」下車 徒歩 10分
- 2.タクシー 約15分

JR南草津駅から

- 1.バス（草津養護学校行き）
「県立総合福祉センター」下車徒歩 1分
- 2.タクシー 約10分

自動車

新名神高速道路
草津・田上ICから約5分



外来診療のご案内

診療日：月～金曜日

休診日：土・日・祝日・年末年始

完全予約制です。
予約専用ダイヤルにて
予約をお取りください。

	月	火	水	木	金
精神科外来	千貫 桐山 榎本	辻本 濱川	大井 金山	大門 松村 栗本（半日）	野口 金山 増田
中・高生こころの専門外来		大門 野口 日指		桐山 尾関（午前）	
依存症専門外来			千貫		大井 濱川
内科外来	浅田	浅田	浅田	浅田	浅田

※…精神科全般：アルコールおよびその他依存症、中高生の精神疾患、発達障害に関する診察、その他精神科疾患の診察を行っています。（認知症・てんかんの診察はしていません。）

※…栗本医師の診察日については予約専用ダイヤルにてお問合せください。

予約専用ダイヤル：
077-567-5023 でお受けしています。
受付時間：
平日の**9時から16時まで。**
緊急時は、代表電話：
077-567-5001 へおかけください。

ホームページ（<https://www.pref.shiga.lg.jp/seishin/>）でもご覧いただけます。

〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目4番25号

滋賀県立精神医療センター Tel：077(567)5001/Fax：077(567)5033

